

ダイワ・ブラジル・ レアル債オープン (毎月分配型／年2回決算型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンドの受益証券
	ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンド	ブラジル・レアル債債券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、ブラジル・レアル債債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>ロ. 固定利付債および割引債の組入比率の合計を、信託財産の純資産総額の50%程度以上とします。</p> <p>ハ. 投資する債券は、政府、政府関係機関、国際機関等が発行するものとします。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、イタウ・ユニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	毎月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
	年2回決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

運用報告書（全体版）

毎月分配型	第78期（決算日 2015年 5月25日）
	第79期（決算日 2015年 6月25日）
	第80期（決算日 2015年 7月27日）
	第81期（決算日 2015年 8月25日）
	第82期（決算日 2015年 9月25日）
年2回決算型	第14期（決算日 2015年10月26日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・ブラジル・レアル債オープン（毎月分配型／年2回決算型）」は、さる10月26日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<4788>

<4789>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			J.P. Morgan GBI-EM ブロード・ブラジル (円換算)		公社債 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率		
54期末(2013年5月27日)	円 9,840	円 90	% △ 1.1	22,019	% △ 1.1	% 97.7	百万円 148,217
55期末(2013年6月25日)	8,436	90	△13.4	18,996	△13.7	96.9	125,951
56期末(2013年7月25日)	8,653	90	3.6	19,817	4.3	99.1	127,403
57期末(2013年8月26日)	7,928	90	△ 7.3	18,330	△ 7.5	98.0	115,143
58期末(2013年9月25日)	8,439	90	7.6	19,914	8.6	98.1	121,661
59期末(2013年10月25日)	8,228	90	△ 1.4	19,642	△ 1.4	98.6	117,315
60期末(2013年11月25日)	8,163	90	0.3	19,616	△ 0.1	98.8	115,803
61期末(2013年12月25日)	8,059	90	△ 0.2	19,581	△ 0.2	98.8	112,567
62期末(2014年1月27日)	7,705	90	△ 3.3	18,977	△ 3.1	98.9	106,743
63期末(2014年2月25日)	7,927	90	4.0	19,868	4.7	99.3	108,904
64期末(2014年3月25日)	7,865	90	0.4	19,968	0.5	99.1	106,772
65期末(2014年4月25日)	8,330	90	7.1	21,437	7.4	98.5	110,343
66期末(2014年5月26日)	8,318	90	0.9	21,629	0.9	98.4	108,833
67期末(2014年6月25日)	8,336	90	1.3	21,974	1.6	98.6	107,460
68期末(2014年7月25日)	8,382	90	1.6	22,312	1.5	99.1	106,977
69期末(2014年8月25日)	8,352	90	0.7	22,405	0.4	99.3	105,983
70期末(2014年9月25日)	8,339	90	0.9	22,518	0.5	99.3	104,493
71期末(2014年10月27日)	7,854	90	△ 4.7	21,494	△ 4.5	98.7	97,911
72期末(2014年11月25日)	8,334	90	7.3	23,034	7.2	98.8	103,281
73期末(2014年12月25日)	7,895	90	△ 4.2	22,076	△ 4.2	98.3	96,969
74期末(2015年1月26日)	8,128	90	4.1	23,208	5.1	98.4	99,168
75期末(2015年2月25日)	7,392	90	△ 7.9	21,139	△ 8.9	99.1	89,818
76期末(2015年3月25日)	6,652	90	△ 8.8	19,192	△ 9.2	98.8	79,791
77期末(2015年4月27日)	7,066	60	7.1	20,609	7.4	98.1	84,413
78期末(2015年5月25日)	6,948	60	△ 0.8	20,498	△ 0.5	98.7	81,589
79期末(2015年6月25日)	7,049	60	2.3	20,818	1.6	98.6	81,418
80期末(2015年7月27日)	6,456	60	△ 7.6	19,253	△ 7.5	98.6	73,287
81期末(2015年8月25日)	5,822	60	△ 8.9	17,298	△10.2	97.1	65,358
82期末(2015年9月25日)	5,174	60	△10.1	15,181	△12.2	98.6	57,175
83期末(2015年10月26日)	5,344	60	4.4	15,773	3.9	98.8	58,301

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J.P. Morgan GBI-EM ブロード・ブラジル (円換算) は、J.P. Morgan GBI-EM ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J.P. Morgan GBI-EM ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

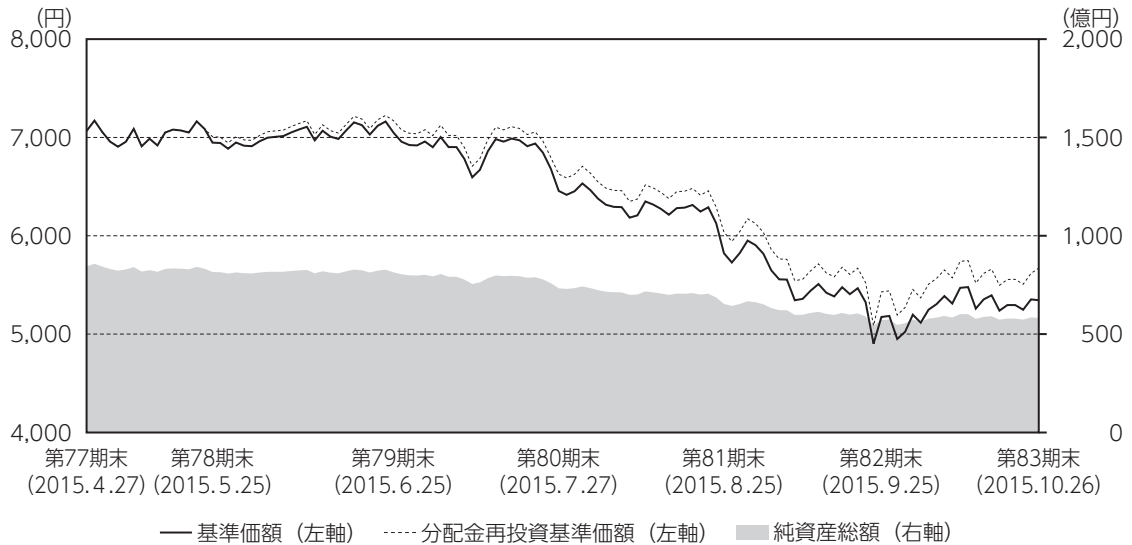
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第78期首：7,066円

第83期末：5,344円（既払分配金360円）

騰落率：△19.8%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、債券価格が下落したことや為替相場が下落したことが要因となり、基準価額は値下がりしました。一方、債券の利息収入は安定的に基準価額の値上がり要因となりました。

ダイワ・ブラジル・リアル債オープン（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算)		公 社 債 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
第78期	(期首) 2015年 4月27日	円 7,066	% -	20,609	% -	% 98.1
	4月末	7,057	△ 0.1	20,627	0.1	98.0
	(期末) 2015年 5月25日	7,008	△ 0.8	20,498	△ 0.5	98.7
第79期	(期首) 2015年 5月25日	6,948	-	20,498	-	98.7
	5月末	6,916	△ 0.5	20,403	△ 0.5	98.0
	(期末) 2015年 6月25日	7,109	2.3	20,818	1.6	98.6
第80期	(期首) 2015年 6月25日	7,049	-	20,818	-	98.6
	6月末	6,919	△ 1.8	20,433	△ 1.8	98.2
	(期末) 2015年 7月27日	6,516	△ 7.6	19,253	△ 7.5	98.6
第81期	(期首) 2015年 7月27日	6,456	-	19,253	-	98.6
	7月末	6,466	0.2	19,356	0.5	98.4
	(期末) 2015年 8月25日	5,882	△ 8.9	17,298	△10.2	97.1
第82期	(期首) 2015年 8月25日	5,822	-	17,298	-	97.1
	8月末	5,905	1.4	17,616	1.8	97.3
	(期末) 2015年 9月25日	5,234	△10.1	15,181	△12.2	98.6
第83期	(期首) 2015年 9月25日	5,174	-	15,181	-	98.6
	9月末	5,024	△ 2.9	14,686	△ 3.3	98.5
	(期末) 2015年10月26日	5,404	4.4	15,773	3.9	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について**○ブラジル債券市況**

ブラジル債券の金利は上昇（債券価格は下落）しました。2014年10月に、ブラジル中央銀行は金融政策委員会（Copom）において、インフレ懸念から政策金利の引上げを決定しましたが、その後も電力料金や公共交通機関の値上げやブラジル・リアル安などによりインフレ率の高止まりが続いたため、継続的に追加利上げを実施し、金利上昇要因となりました。また2015年1月以降は、財政再建法案が議会の反発を受け法案の成立が難航すると懸念されたことや大手石油会社ペトロブラスの汚職問題が金利上昇要因となりました。8月以降は、景気低迷が続く中で税収が想定以上に落ち込んだため基礎的財政収支の黒字目標値が下方修正されたことや、政府と議会との対立により追加増税法案の成立が遅延したことから財政懸念が高まり、金利上昇要因となりました。また、大手格付会社が相次いでブラジルの国債格付けを引下げたことも金利上昇要因となりました。

○為替相場

ブラジル・リアルは対円で下落しました。国内要因では、ペトロブラスをめぐる汚職事件が発覚し、検察当局の捜査対象が民間から政界へ波及する中、投資家心理が後退しました。また、中央銀行の利上げにもかかわらずインフレ率の高止まりが続き、景気低迷の継続が懸念されたほか、財政再建に対する不信感から格付けが引下げられたことも下落圧力となりました。国外要因では、米国の金融政策正常化に伴う新興国からの資本流出懸念や主要輸出相手国である中国経済の低迷などがレアルの下落圧力となりました。レアルの対米ドルレートは、2015年9月に1米ドル＝4レアルを割り込み急速に下落しました。年初より政府・中央銀行が為替介入規模を縮小していましたが、中央銀行はレアルの買い介入規模を拡大し、レアルを下支えしました。

前作成期間末における「今後の運用方針」**○当ファンド**

「ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

ブラジル国債の利回りは他の新興国に比べて高水準にあり、長期保有に適した魅力的な投資対象です。財政再建への取り組みは中長期的にブラジル債券の好材料であり、ブラジル・リアルの信認も高めると期待されます。当ファンドは金利リスクやインフレリスクに留意しながら、種別構成にも柔軟に調整しつつ、引続き投資妙味の高いブラジル国債を高位に組入れて運用します。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

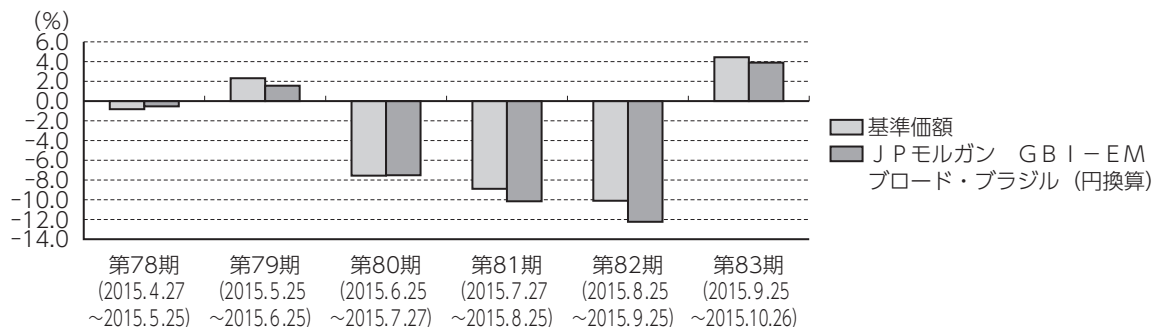
○ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

債券ポートフォリオは、名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）と物価連動債の双方からなるブラジル国債ポートフォリオで運用しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はブラジル債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

第78期～第83期の1万口当り分配金（税込み）は、それぞれ60円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2015年4月28日 ～2015年5月25日	2015年5月26日 ～2015年6月25日	2015年6月26日 ～2015年7月27日	2015年7月28日 ～2015年8月25日	2015年8月26日 ～2015年9月25日	2015年9月26日 ～2015年10月26日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率（％）	0.86	0.84	0.92	1.02	1.15	1.11
当期の収益（円）	42	51	43	35	41	48
当期の収益以外（円）	17	8	16	24	18	11
翌期繰越分配対象額（円）	215	207	190	166	148	137

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(a) 経費控除後の配当等収益	42.41円	51.31円	43.10円	35.91円	41.64円	48.87円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	62.43	62.94	63.40	64.54	64.91	65.24
(d) 分配準備積立金	170.98	152.96	143.86	126.03	101.62	83.01
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	275.83	267.21	250.38	226.49	208.19	197.12
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	215.83	207.21	190.38	166.49	148.19	137.12

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第78期～第83期		項 目 の 概 要
	(2015.4.28～2015.10.26)		
	金 額	比 率	
信託報酬	45円	0.714%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,331円です。
（投信会社）	(17)	(0.266)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(27)	(0.427)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	4	0.070	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.069)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	50	0.784	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年4月28日から2015年10月26日まで)

決算期	第78期～第83期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンド	623,224	1,199,590	6,725,194	12,417,964

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第78期～第83期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第77期末			第83期末		
	□数	□数	評価額	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンド	42,841,449	36,739,478	58,775,818			

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年5月25日)、(2015年6月25日)、(2015年7月27日)、(2015年8月25日)、(2015年9月25日)、(2015年10月26日)現在

項目	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末
(A) 資産	82,500,292,315円	82,295,633,628円	74,202,997,882円	66,220,956,931円	58,026,027,423円	59,140,341,572円
コール・ローン等	64,380,376	114,118,815	93,089,655	196,309,417	371,918,640	256,573,084
ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンド(評価額)	82,335,365,939	82,101,064,813	73,979,118,227	65,987,897,514	57,539,688,783	58,775,818,488
未収入金	100,546,000	80,450,000	130,790,000	36,750,000	114,420,000	107,950,000
(B) 負債	910,780,660	877,187,561	915,858,340	862,509,462	850,097,194	838,560,412
未払収益分配金	704,587,911	693,038,036	681,155,211	673,520,744	663,098,485	654,607,668
未払解約金	113,782,396	83,630,477	134,434,973	106,587,400	110,622,457	111,728,628
未払信託報酬	92,252,024	100,182,260	99,746,479	81,716,734	75,526,097	71,183,287
その他未払費用	158,329	336,788	521,677	684,584	850,155	1,040,829
(C) 純資産総額(A-B)	81,589,511,655	81,418,446,067	73,287,139,542	65,358,447,469	57,175,930,229	58,301,781,160
元本	117,431,318,610	115,506,339,399	113,525,868,645	112,253,457,453	110,516,414,286	109,101,278,060
次期繰越損益金	△ 35,841,806,955	△ 34,087,893,332	△ 40,238,729,103	△ 46,895,009,984	△ 53,340,484,057	△ 50,799,496,900
(D) 受益権総口数	117,431,318,610口	115,506,339,399口	113,525,868,645口	112,253,457,453口	110,516,414,286口	109,101,278,060口
1万口当り基準価額(C/D)	6,948円	7,049円	6,456円	5,822円	5,174円	5,344円

*第77期末における元本額は119,457,006,578円、当作成期間（第78期～第83期）中における追加設定元本額は2,520,035,966円、同解約元本額は12,875,764,484円です。

*第83期末の計算口数当りの純資産額は5,344円です。

*第83期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は50,799,496,900円です。

■投資信託財産の構成

2015年10月26日現在

項目	第83期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンド	58,775,818	99.4
コール・ローン等、その他	364,523	0.6
投資信託財産総額	59,140,341	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月26日における邦貨換算レートは、1ブラジル・レアル=31.25円です。

(注3) ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンドにおいて、第83期末における外貨建純資産（60,932,916千円）の投資信託財産総額（61,017,189千円）に対する比率は、99.9%です。

ダイワ・ブラジル・リアル債オープン（毎月分配型）

■損益の状況

第78期 自2015年4月28日 至2015年5月25日 第81期 自2015年7月28日 至2015年8月25日
 第79期 自2015年5月26日 至2015年6月25日 第82期 自2015年8月26日 至2015年9月25日
 第80期 自2015年6月26日 至2015年7月27日 第83期 自2015年9月26日 至2015年10月26日

項目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(A) 配当等収益	4,934円	6,748円	5,958円	9,661円	36,877円	20,329円
受取利息	4,934	6,748	5,958	9,661	36,877	20,329
(B) 有価証券売買損益	△ 595,204,778	1,958,856,308	△ 5,952,176,108	△ 6,338,895,148	△ 6,429,726,288	2,582,675,188
売買益	18,130,317	1,975,098,949	32,304,565	31,937,285	65,478,755	2,604,842,917
売買損	△ 613,335,095	△ 16,242,641	△ 5,984,480,673	△ 6,370,832,433	△ 6,495,205,043	△ 22,167,729
(C) 信託報酬等	△ 92,410,353	△ 100,360,719	△ 99,931,368	△ 81,879,641	△ 75,691,668	△ 71,373,961
(D) 当期損益(A+B+C)	△ 687,610,197	1,858,502,337	△ 6,052,101,518	△ 6,420,765,128	△ 6,505,381,079	2,511,321,556
(E) 前期繰越損益金	△22,769,216,616	△23,698,102,289	△22,084,246,289	△28,281,798,295	△34,721,755,959	△41,221,121,915
(F) 追加信託差損益金	△11,680,392,231	△11,555,255,344	△11,421,226,085	△11,518,925,817	△11,450,248,534	△11,435,088,873
(配当等相当額)	(733,191,958)	(726,998,913)	(719,809,689)	(724,576,991)	(717,416,958)	(711,778,882)
(売買損益相当額)	(△12,413,584,189)	(△12,282,254,257)	(△12,141,035,774)	(△12,243,502,808)	(△12,167,665,492)	(△12,146,867,755)
(G) 合計(D+E+F)	△35,137,219,044	△33,394,855,296	△39,557,573,892	△46,221,489,240	△52,677,385,572	△50,144,889,232
(H) 収益分配金	△ 704,587,911	△ 693,038,036	△ 681,155,211	△ 673,520,744	△ 663,098,485	△ 654,607,668
次期繰越損益金(G+H)	△35,841,806,955	△34,087,893,332	△40,238,729,103	△46,895,009,984	△53,340,484,057	△50,799,496,900
追加信託差損益金	△11,680,392,231	△11,555,255,344	△11,421,226,085	△11,518,925,817	△11,450,248,534	△11,435,088,873
(配当等相当額)	(733,191,958)	(726,998,913)	(719,809,689)	(724,576,991)	(717,416,958)	(711,778,882)
(売買損益相当額)	(△12,413,584,189)	(△12,282,254,257)	(△12,141,035,774)	(△12,243,502,808)	(△12,167,665,492)	(△12,146,867,755)
分配準備積立金	1,801,355,174	1,666,441,253	1,441,529,957	1,144,343,564	920,368,622	784,258,025
繰越損益金	△25,962,769,898	△24,199,079,241	△30,259,032,975	△36,520,427,731	△42,810,604,145	△40,148,666,052

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(a) 経費控除後の配当等収益	498,045,838円	592,666,391円	489,405,517円	403,131,757円	460,289,713円	533,198,139円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	733,191,958	726,998,913	719,809,689	724,576,991	717,416,958	711,778,882
(d) 分配準備積立金	2,007,897,247	1,766,812,898	1,633,279,651	1,414,732,551	1,123,177,394	905,667,554
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	3,239,135,043	3,086,478,202	2,842,494,857	2,542,441,299	2,300,884,065	2,150,644,575
(f) 分配金	704,587,911	693,038,036	681,155,211	673,520,744	663,098,485	654,607,668
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	2,534,547,132	2,393,440,166	2,161,339,646	1,868,920,555	1,637,785,580	1,496,036,907
(h) 受益権総口数	117,431,318,610□	115,506,339,399□	113,525,868,645□	112,253,457,453□	110,516,414,286□	109,101,278,060□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
1 万 口 当 り 分 配 金	60円	60円	60円	60円	60円	60円
(単 価)	(6,948円)	(7,049円)	(6,456円)	(5,822円)	(5,174円)	(5,344円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年4月27日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）は7,597円です。」

★ダイワ・ブラジル・リアル債オープン（年2回決算型）

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算)		公 社 債 率 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率		
10期末(2013年10月25日)	円 17,030	円 10	% △12.7	19,642	% △11.8	% 99.0	百万円 3,010
11期末(2014年4月25日)	18,446	10	8.4	21,437	9.1	98.3	2,904
12期末(2014年10月27日)	18,531	10	0.5	21,494	0.3	97.9	3,996
13期末(2015年4月27日)	17,839	10	△ 3.7	20,609	△ 4.1	98.3	2,534
14期末(2015年10月26日)	14,296	10	△19.8	15,773	△23.5	97.5	2,138

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算) は、J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

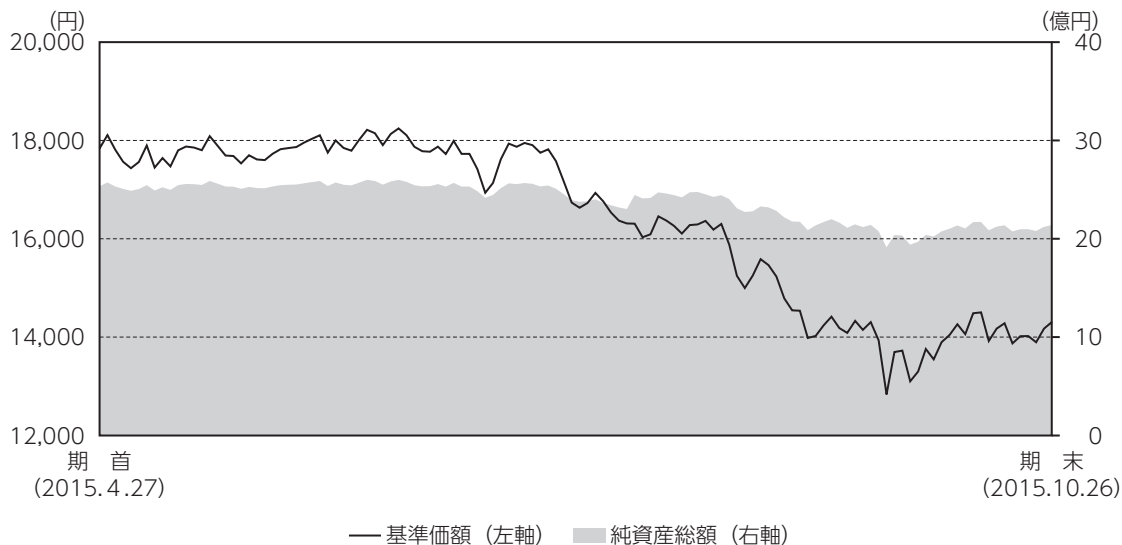
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

期首：17,839円

期末：14,296円 (分配金10円)

騰落率：△19.8% (分配金込み)

■基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、債券価格が下落したことや為替相場が下落したことが要因となり、基準価額は値下がりしました。一方、債券の利息収入は安定的に基準価額の値上がり要因となりました。

ダイワ・ブラジル・リアル債オープン（年2回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		J P モルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算)	公 社 債 率	
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	組 入 比
(期首) 2015年 4 月27日	円 17,839	% -	20,609	% -	% 98.3
4 月末	17,816	△ 0.1	20,627	0.1	98.0
5 月末	17,613	△ 1.3	20,403	△ 1.0	98.2
6 月末	17,771	△ 0.4	20,433	△ 0.9	98.3
7 月末	16,760	△ 6.0	19,356	△ 6.1	98.8
8 月末	15,465	△13.3	17,616	△14.5	98.0
9 月末	13,299	△25.4	14,686	△28.7	98.6
(期末) 2015年10月26日	14,306	△19.8	15,773	△23.5	97.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○ブラジル債券市況

ブラジル債券の金利は上昇（債券価格は下落）しました。2014年10月に、ブラジル中央銀行は金融政策委員会（Copom）において、インフレ懸念から政策金利の引上げを決定しましたが、その後も電力料金や公共交通機関の値上げやブラジル・リアル安などによりインフレ率の高止まりが続いたため、継続的に追加利上げを実施し、金利上昇要因となりました。また2015年1月以降は、財政再建法案が議会の反発を受け法案の成立が難航すると懸念されたことや大手石油会社ペトロブラスの汚職問題が金利上昇要因となりました。8月以降は、景気低迷が続く中で税収が想定以上に落ち込んだため基礎的財政収支の黒字目標値が下方修正されたことや、政府と議会との対立により追加増税法案の成立が遅延したことから財政懸念が高まり、金利上昇要因となりました。また、大手格付会社が相次いでブラジルの国債格付けを引下げたことも金利上昇要因となりました。

○為替相場

ブラジル・リアルは対円で下落しました。国内要因では、ペトロブラスをめぐる汚職事件が発覚し、検察当局の捜査対象が民間から政界へ波及する中、投資家心理が後退しました。また、中央銀行の利上げにもかかわらずインフレ率の高止まりが続き、景気低迷の継続が懸念されたほか、財政再建に対する不信感から格付けが引下げられたことも下落圧力となりました。国外要因では、米国の金融政策正常化に伴う新興国からの資本流出懸念や主要輸出相手国である中国経済の低迷などがレアルの下落圧力となりました。レアルの対米ドルレートは、2015年9月に1米ドル＝4レアルを割り込み急速に下落しました。年初より政府・中央銀行が為替介入規模を縮小していましたが、中央銀行はレアルの買い介入規模を拡大し、レアルを下支えしました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

ブラジル国債の利回りは他の新興国に比べて高水準にあり、長期保有に適した魅力的な投資対象です。財政再建への取り組みは中長期的にブラジル債券の好材料であり、ブラジル・リアルの信認も高めると期待されます。当ファンドは金利リスクやインフレリスクに留意しながら、種別構成にも柔軟に調整しつつ、引続き投資妙味の高いブラジル国債を高位に組入れて運用します。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

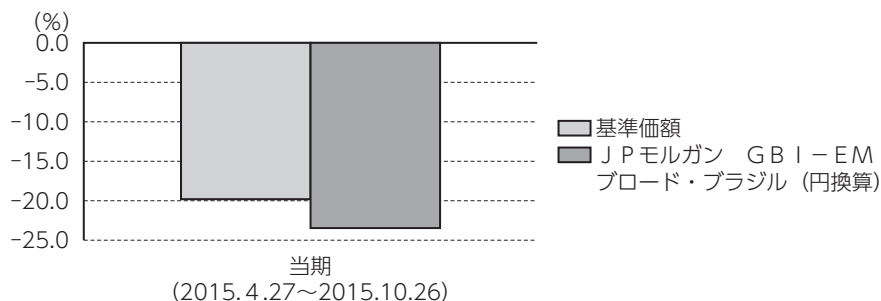
○ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

債券ポートフォリオは、名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）と物価連動債の双方からなるブラジル国債ポートフォリオで運用しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はブラジル債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は、10円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2015年4月28日 ～2015年10月26日	
当期分配金（税込み）	(円)	10
対基準価額比率	(%)	0.07
当期の収益	(円)	10
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	12,384

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	640.84円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	7,610.89
(d) 分配準備積立金	4,142.80
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	12,394.54
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	12,384.54

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・リアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2015.4.28~2015.10.26)		
	金 額	比 率	
信託報酬	118円	0.725%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は16,333円です。
（投信会社）	(44)	(0.271)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(71)	(0.433)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(4)	(0.022)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	12	0.074	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(11)	(0.070)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	131	0.799	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年4月28日から2015年10月26日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ブラジル・レアル債 マザーファンド	196,137	347,354	153,818	269,297

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンド	1,288,530	1,330,848	2,129,092	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年10月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンド	2,129,092	98.6
コール・ローン等、その他	29,169	1.4
投資信託財産総額	2,158,261	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月26日における邦貨換算レートは、1ブラジル・レアル=31.25円です。

(注3) ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(60,932,916千円)の投資信託財産総額(61,017,189千円)に対する比率は、99.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年10月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,158,261,246円
コール・ローン等	28,029,059
ダイワ・ブラジル・レアル債 マザーファンド(評価額)	2,129,092,187
未収入金	1,140,000
(B) 負債	19,973,097
未払収益分配金	1,495,692
未払解約金	1,265,352
未払信託報酬	17,116,349
その他未払費用	95,704
(C) 純資産総額(A - B)	2,138,288,149
元本	1,495,692,833
次期繰越損益金	642,595,316
(D) 受益権総口数	1,495,692,833口
1万口当り基準価額(C / D)	14,296円

* 期首における元本額は1,420,649,373円、当期中における追加設定元本額は258,662,242円、同解約元本額は183,618,782円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は14,296円です。

■損益の状況

当期 自2015年4月28日 至2015年10月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	3,929円
受取利息	3,929
(B) 有価証券売買損益	△ 461,849,201
売買益	38,121,335
売買損	△ 499,970,536
(C) 信託報酬等	△ 17,212,053
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 479,057,325
(E) 前期繰越損益金	183,620,794
(F) 追加信託差損益金	939,527,539
(配当等相当額)	(1,138,355,722)
(売買損益相当額)	(△ 198,828,183)
(G) 合計(D + E + F)	644,091,008
(H) 収益分配金	△ 1,495,692
次期繰越損益金(G + H)	642,595,316
追加信託差損益金	939,527,539
(配当等相当額)	(1,138,355,722)
(売買損益相当額)	(△ 198,828,183)
分配準備積立金	713,991,684
繰越損益金	△1,010,923,907

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	95,850,279円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,138,355,722
(d) 分配準備積立金	619,637,097
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,853,843,098
(f) 分配金	1,495,692
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,852,347,406
(h) 受益権総口数	1,495,692,833口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、10月26日現在の基準価額（1万口当り14,296円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年4月27日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）は18,391円です。」

ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2015年10月26日)

(計算期間 2015年4月28日～2015年10月26日)

ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンドの第14期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ブラジル・リアル建債券
運用方法	<p>①主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>ロ. 固定利付債および割引債の組入比率の合計を、信託財産の純資産総額の50%程度以上とします。</p> <p>ハ. 投資する債券は、政府、政府関係機関、国際機関等が発行するものとします。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、イタウ・ウニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

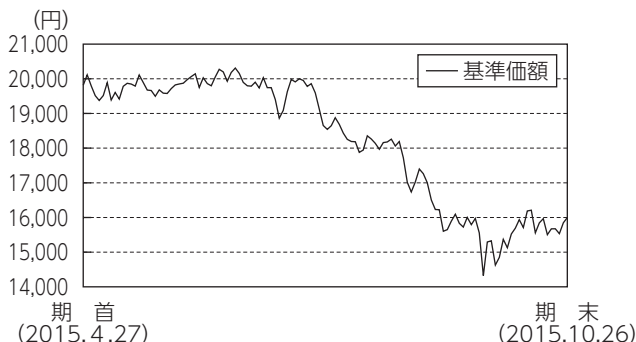
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準 価 額		JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル (円換算)		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2015年 4月27日	円	%	(参考指数)	%	%
	19,814	-	20,609	-	97.6
4 月末	19,791	△ 0.1	20,627	0.1	98.1
5 月末	19,586	△ 1.2	20,403	△ 1.0	98.2
6 月末	19,787	△ 0.1	20,433	△ 0.9	98.3
7 月末	18,685	△ 5.7	19,356	△ 6.1	98.6
8 月末	17,263	△12.9	17,616	△14.5	98.6
9 月末	14,850	△25.1	14,686	△28.7	99.2
(期末)2015年10月26日	15,998	△19.3	15,773	△23.5	98.0

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル (円換算) は、JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、JP Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。JP Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：19,814円 期末：15,998円 騰落率：△19.3%

【基準価額の主な変動要因】

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、債券価格が下落したことや為替相場が下落したことが要因となり、基準価額は値下がりしました。一方、債券の利息収入は安定的に基準価額の値上がり要因となりました。

◆投資環境について

○ブラジル債券市場

ブラジル債券の金利は上昇 (債券価格は下落) しました。2014年10月に、ブラジル中央銀行は金融政策委員会 (Copom) において、インフレ懸念から政策金利の引上げを決定しましたが、その後も電力料金や公共交通機関の値上げやブラジル・リアルなどに

よりインフレ率の高止まりが続いたため、継続的に追加利上げを実施し、金利上昇要因となりました。また2015年1月以降は、財政再建法案が議会の反発を受け法案の成立が難航すると懸念されたことや大手石油会社ペトロブラスの汚職問題が金利上昇要因となりました。8月以降は、景気低迷が続く中で税収が想定以上に落ち込んだため基礎的財政収支の黒字目標値が下方修正されたことや、政府と議会との対立により追加増税法案の成立が遅延したことから財政懸念が高まり、金利上昇要因となりました。また、大手格付会社が相次いでブラジルの国債格付けを下げたことも金利上昇要因となりました。

○為替相場

ブラジル・リアルは対円で下落しました。国内要因では、ペトロブラスをめぐる汚職事件が発覚し、検察当局の捜査対象が民間から政界へ波及する中、投資家心理が後退しました。また、中央銀行の利上げにもかかわらずインフレ率の高止まりが続く、景気低迷の継続が懸念されたほか、財政再建に対する不感から格付けが引下げられたことも下落圧力となりました。国外要因では、米国の金融政策正常化に伴う新興国からの資本流出懸念や主要輸出相手国である中国経済の低迷などがレアルの下落圧力となりました。レアルの対米ドルレートは、2015年9月に1米ドル=4レアルを割り込み急速に下落しました。年初より政府・中央銀行が為替介入規模を縮小していましたが、中央銀行はレアルの買い介入規模を拡大し、レアルを下支えました。

◆前期における「今後の運用方針」

ブラジル国債の利回りは他の新興国に比べて高水準にあり、長期保有に適した魅力的な投資対象です。財政再建への取り組みは中長期的にブラジル債券の好材料であり、ブラジル・リアルの情報も高めると期待されます。当ファンドは金利リスクやインフレリスクに留意しながら、種別構成にも柔軟に調整しつつ、引続き投資妙味の高いブラジル国債を高位に組入れて運用します。

◆ポートフォリオについて

債券ポートフォリオは、名目債 (一般に割引債と利付債をいいます) と物価連動債の双方からなるブラジル国債ポートフォリオで運用しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数はブラジル債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	- 円
有価証券取引税	-
その他費用 (保管費用)	13 (13)
合 計	13

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
公社債

(2015年4月28日から2015年10月26日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジル・リアル 1,077,697	千ブラジル・リアル 1,335,261 (-)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
公 社 債

(2015年4月28日から2015年10月26日まで)

当			期		
買	付		売	付	
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2016/8/15	7,895,249	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2016/1/1	25,318,503
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2019/1/1	6,274,847	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル)	10% 2025/1/1	7,733,546
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2017/1/1	5,364,874	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2015/7/1	5,785,930
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2018/1/1	5,086,885	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2016/8/15	5,407,688
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2018/7/1	4,674,990	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2020/8/15	914,573
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2017/7/1	4,035,361	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2045/5/15	371,424
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2016/1/1	3,299,418	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2018/8/15	192,230
			Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2018/1/1	75,785

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・ブラジル・リアル債マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	作 成 期	当 期		未 期					
		額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ブラジル	千ブラジル・リアル 1,773,000	千ブラジル・リアル 1,909,176	千円 59,661,780	98.0%	% -	% 9.6	% 25.2	% 63.1	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千ブラジル・リアル	千円	
ブラジル	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000	5,000	13,607	425,223	2017/05/15
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000	217,000	590,439	18,451,238	2016/08/15
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000	15,000	34,867	1,089,604	2040/08/15
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000	16,000	36,722	1,147,570	2045/05/15
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000	18,000	42,372	1,324,147	2035/05/15
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000	9,000	20,657	645,558	2050/08/15
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000	5,000	13,315	416,121	2018/08/15
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	-	85,000	82,911	2,590,985	2016/01/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	-	261,000	237,465	7,420,800	2016/07/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	-	200,000	169,012	5,281,625	2017/01/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	-	175,000	137,172	4,286,625	2017/07/01
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	43,000	31,473	983,544	2025/01/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	-	215,000	156,257	4,883,053	2018/01/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	-	200,000	134,746	4,210,812	2018/07/01
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国債証券	6.0000	9,000	20,703	646,993	2055/05/15
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	-	300,000	187,452	5,857,875	2019/01/01
合 計	銘 柄 数 金 額	16銘柄		1,773,000	1,909,176	59,661,780	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年10月26日現在

項 目	当 期		未 期	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公社債	千円 59,661,780	97.8%	千円 59,661,780	97.8%
コール・ローン等、その他	1,355,409	2.2%	1,355,409	2.2%
投資信託財産総額	61,017,189	100.0%	61,017,189	100.0%

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月26日における邦貨換算レートは、1ブラジル・リアル＝31.25円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（60,932,916千円）の投資信託財産総額（61,017,189千円）に対する比率は、99.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年10月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	61,858,727,036円
コール・ローン等	95,828,012
公社債(評価額)	59,661,780,000
未収入金	1,665,290,111
未収利息	435,828,913
(B) 負債	952,840,000
未払金	843,750,000
未払解約金	109,090,000
(C) 純資産総額(A - B)	60,905,887,036
元本	38,070,327,963
次期繰越損益金	22,835,559,073
(D) 受益権総口数	38,070,327,963口
1万口当り基準価額(C/D)	15,998円

*期首における元本額は44,129,979,420円、当期中における追加設定元本額は819,362,015円、同解約元本額は6,879,013,472円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ブラジル・リアル債オープン(毎月分配型) 36,739,478,990円、ダイワ・ブラジル・リアル債オープン(年2回決算型) 1,330,848,973円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は15,998円です。

■損益の状況

当期 自2015年4月28日 至2015年10月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	3,132,007,604円
受取利息	3,132,007,604
(B) 有価証券売買損益	△18,472,322,007
売買益	1,269,160,045
売買損	△19,741,482,052
(C) その他費用	△ 51,613,511
(D) 当期損益金(A + B + C)	△15,391,927,914
(E) 前期繰越損益金	43,308,152,530
(F) 解約差損益金	△ 5,808,247,528
(G) 追加信託差損益金	727,581,985
(H) 合計(D + E + F + G)	22,835,559,073
次期繰越損益金(H)	22,835,559,073

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。